【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公表番号】特表2014-531723(P2014-531723A)
【公表日】平成26年11月27日(2014.11.27)
【年通号数】公開・登録公報2014-065
【出願番号】特願2014-533625(P2014-533625)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ　12/71　　(2011.01)
Ｈ０１Ｒ　 4/58　　(2006.01)
Ｈ０１Ｒ　12/72　　(2011.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ　12/71
Ｈ０１Ｒ　 4/58　　Ｂ
Ｈ０１Ｒ　12/72

【手続補正書】
【提出日】平成27年9月8日(2015.9.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
端子端、前記端子端と反対側の第１の移行端、及び第１の平面内に概ね位置する主面を有する長手状の第１の本体部分と、
前記第１の移行端の末端側に位置する接点端、前記接点端と反対側の第２の移行端、及び前記第１の平面と交差する第２の平面内に概ね位置する主面を有する長手状の第２の本体部分と、
前記第１の本体部分の前記端子端から延びる端子部分と、
前記第２の本体部分の前記接点端から延びる接点部分と、を有する、電気接点。
【請求項２】
前面を有する絶縁性本体と、
前記絶縁性本体から遠ざかる方向に前記前面から延びる舌部であって、上舌部面及び下舌部面を有する舌部と、
前記舌部の前記上舌部面に含まれる１組の舌部スロット内に配置された１組の電気接点及び前記舌部の前記下舌部面に含まれる別の舌部スロットの組内に配置された別の電気接点の組と、を有する電気コネクタであって、
前記下舌部面に含まれる前記舌部スロットが前記上舌部面に含まれる前記舌部スロットと整列し、
それぞれの電気接点が、
端子端、前記端子端と反対側の第１の移行端、及び第１の平面内に概ね位置する主面を有する長手状の第１の本体部分と、
前記第１の移行端の末端側に位置する接点端、前記接点端と反対側の第２の移行端、及び前記第１の平面と交差する第２の平面内に概ね位置する主面を有する長手状の第２の本体部分と、
前記第１の本体部分の前記端子端から延びる端子部分と、
前記第２の本体部分の前記接点端から延びる接点部分と、を含む、電気コネクタ。

【請求項３】
ブロードサイド結合用に構成された長手状の第１の本体部分と、
エッジ結合用に構成され、前記長手状の第１の本体部分から延びる長手状の第２の本体部分と、を有することにより、電気接点のS_{21}が、約１０ＧＨｚ未満の周波数において約２ｄＢ未満である、又は、電気接点のインピーダンスが、シングルエンド用途では約４０Ω～約６０Ωの間であり、差動用途では約８０Ω～約１２０Ωの間である、又は、電気接点のクロストークが、約２０ＧＨｚ以下の周波数において約－３０ｄＢ未満である、電気接点。
【請求項４】
絶縁性本体と、
前記絶縁性本体内に配置される少なくとも１つの電気接点であって、
ブロードサイド結合用に構成された長手状の第１の本体部分と、
エッジ結合用に構成され、前記第１の本体部分から延びる長手状の第２の本体部分とを有する電気接点と、
を有し、
前記第２の本体部分が、嵌合電気接点と嵌合される際に固定位置に留まる、電気コネクタ。
【請求項５】
ブロードサイド結合用に構成された長手状の第１の本体部分と、
エッジ結合用に構成された長手状の第２の本体部分と、を有する電気接点であって、
前記第２の本体部分は、前記第１の本体部分から横方向に延びる、又は、前記電気接点の上から見た場合に前記第１の本体部分が前記第２の本体部分の投射された幅内となるように前記第１の本体部分から延びる、電気接点。